

特定非営利活動法人



ふぁみりあネット

Wave

ウエーブ



第83号

令和4年 冬だより



■■■■ 主な内容 ■■■■

- P.2 「誰一人取り残さない社会を目指して」 理事長 夏目智子
- P.3 災害救援 台風15号被害お見舞い 災害に備えて
- P.4~6 男女共同参画・他団体交流
 - 講演会「これからの女性の生き方」山東昭子氏
 - 「町工場の娘」諏訪貴子氏
 - 第71回 静岡県地女連大会 事例発表
 - 啓発活動 パープルリボン配付 他
- P.7 環境保全 講座「コンポスト作りで53ゼロをめざそう！」他
- P.8~9 消費者保護 講座「製品安全研修会」 第1部、第2部
 - 令和4年度産業標準化事業表彰式 経済産業大臣賞受賞
- P.10 福祉の増進 ふくろいファミリー・サポート・センター
- P.11 子どもの育成 放課後児童クラブ
- P.12 文化振興 他 研修旅行「とよたエコフルタウンと三河」 他
- P.13 会員の窓
- P.14 募集・おしらせ 国際親善 「オンラインで今すぐネパールに行ってみよう！」
令和5年度法人通常総会 他



誰一人取り残さない社会を目指して

2022年寅から2023年卯（ウサギ）へ



理事長 夏目 智子

2022年（令和4年）も残すところ僅かとなりました。会員及び関係者の皆様には、大変お世話になりましたこと、紙面を借りてお礼申し上げます。

2022年は皆様にとりまして、どのような年でありましたか？

当法人ふぁみりあネットは、コロナ禍中であっても、これまで以上に充実した事業運営に取り組むことが出来ています。皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

■ 誰一人取り残さない社会とは

国連のSDGs（持続可能な開発目標）では、17の目標が設定され、「誰一人取り残さない」という原則が採用されています。SDGsは一番苦しい立場にある人たちが、そうした状況から抜け出し、教育、保健、雇用を享受でき、不平等がなく、そして、平和と公平が確保され、環境が持続可能である世界を目指しています。

ところで、＜マネルの国＞ この言葉を聞いたことがありますか？

男性しか参加しないパネルのことを、マン（男性）とパネル（一般に公開の討論への出席者全体）をかけた造語で、欧米などでは何年も前からよく知られている言葉です。SDGs5には、＜ジェンダー平等を実現しよう＞



という目標が設定されていますが、2022年版の「男女格差（ジェンダーギャップ）報告」では、日本は146カ国中116位でした。

そこで当法人ふぁみりあネットは、2022年は、政治と経済それぞれの分野で活躍している女性を講師に招き、講演会を実施しました（詳細は4、5ページをご覧ください）。人口の半分を占める女性の声を生かし、ジェンダーバランスがとれた形で女性活躍の場がさらに開かれること、それは誰にとっても平等な社会に繋がります。＜マネルの国＞と言われないようにしましょう。

当法人ふぁみりあネットは、事業を計画するときに、常にSDGsの目標に合っているかどうかを検討しています。2023年は、あらゆる分野で安心して個性や能力を発揮でき、成果を認め合うことができる社会、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指したいと考えています。

皆様の更なるお力添えをお願い申し上げます。



台風15号の大雨により
亡くなられた方への
ご冥福をお祈り申し上げますとともに
ご遺族や被災された方々に
心からお悔やみとお見舞いを申し上げます

9月23日から24日未明にかけて、袋井市も台風15号による大雨に襲われ、各地で広範囲にわたり被害が発生いたしました。
近年は、時季にかかわらず荒天に見舞われたり、線状降水帯の発生が頻繁に起こったり、また急な天候の変化も多くなったりと、災害を予測することが困難な状況にあります。
自分や家族を守るため、地域のさまざまな防災情報を確認できるようにしておきましょう。

地域防災情報の入手は **メール・LINE** で受信できる
「メローねっと」 を利用しよう！

今年度ふくろいファミリー・サポート・センターが開催したサポート養成講座で、危機管理課から「メローねっと」登録について見やすい案内チラシが配付されましたので同封いたします。未登録の方は、この機会に登録をお願いします。

同封のチラシ(表裏)
をお読みください。

既に多くの皆さんが登録されていると思いますが、情報内容等の再確認や、まだ登録されていないご家族やお知り合いの方へご案内をお願いいたします。



男女共同

今年度の男女共同参画事業は、様々な角度から活動に取り組みました。日程が同時期となり準備等かけ足でしたが、

1 講演会

男女共同参画社会の実現に向けた、さらなる意識の変革と、特に女性の参画が少ないといわれる、

10/8(土) 15~16時 袋井中央ホール

「これからの女性の生き方」 210名聴講

前参議院議長 参議院議員 山東昭子氏



お土産に袋井市特産クラウンメロンをお渡ししました。

まず、山東昭子氏からは、女性大臣・女性議長として、種々の政策課題や議会運営に取り組む姿勢や生き方のお話の中から、国民の健康や食に関わる政策への女性の視点の重要さや、方針決定の過程に、女性の意見を反映させる大切さ、女性の参画拡大への姿勢などを伺うことができました。



講演後、高尾地区の袋井祭りをご覧になり、地域の方からの撮影をお願いされた時の一コマ。

※保護者様の了承を得て掲載しています。

お二人の講演会を通して、政治や経済の分野の格差解消に向けての日本の課題を認識するとともに、誰もが、あらゆる分野で安心して個性や能力を発揮でき、成果を認めあえる社会の実現に向けた学びを、今後も続けたいという気持ちが一層高まりました。

アンケート

(一部抜粋)

- *自分自身の意見や思いや気持ちを持つこと、伝えること
- *講師の素晴らしい生き方に感動した
- *女性の生き方を進んで示せる社会を作っていけるとよい
- *地域社会の中で、いろいろな人と交流しお互いの意見を尊重すること
- *いつまでも世の中のことに興味を持ちたい

お陰様で充実した内容となりました。今後さらに、広く浸透し持続できるような啓発活動を目指していきたいと思います。

全2回

政策決定の分野や、企業経営の方針決定を行う職域への、女性の参画拡大をめざす研修を実施しました。

11/5(土) 13時半～15時 袋井新産業会館キラット2Fあきはホール

町工場の娘 2代目社長の10年戦争 120名聴講

ダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪貴子氏



講師の諏訪貴子氏

次に、経済分野で活躍中の諏訪貴子氏からは、お父様の急逝後に町工場の女性社長に就任した10年間で語られました。企業経営や方針の決断、従業員とともに新たな困難に挑戦する日々、女性がおかれる苦勞を乗り越え、それら果敢に取り組む姿勢からは、職業への誇りや従業員への愛、様々な職域への、女性参画の魅力が伝えられました。

家庭でも職場でも地域でも、お互いを思いやり、支え合いながら、自分らしい生活ができるよう、個々の意識改革を通して、参画社会の実現をめざしたいと思います。

お二人とも公私ともご多用の中、遠方からお越しいただき感謝の念が尽きません。



諏訪氏と担当理事

この後、次々とあった撮影希望(聴講者、スタッフ)にも快く応じてくださいました。



ドラマ化された諏訪氏の著書。引き込まれていく内容・表現で、おすすめです！ドラマはオンデマンド配信で視聴可能。

- *雇用を守るために収益を上げることに努力を惜しまない態度が大切である
- *日本の経済を支える中小企業の底上げに尽力する姿に感動した
- *「人には幸も不幸もない、考え次第」シェイクスピアの言葉が印象的
- *辛い時こそ成長のチャンス
- *女性としての甘えがなく、男女共同参画社会で重要な点

すばらしいご意見ご感想をいただきました。今後の活動の参考とさせていただきます！すべてのコメントに感謝いたします。

2 第71回 静岡県地女連大会

令和4年11月29日(火)あざれあ6階 大ホール 参加者163名

来賓としてご臨席された静岡県副知事、静岡県議会議長が祝辞を述べられました。その後、記念講演、事例発表と進められました。



壇上で発表している兼子理事

4事業の事例発表は、6団体がそれぞれ行い、ふぁみりあネットは、男女共同参画地域実践活動事業として「家事シェアリング」「山東昭子氏と諏訪貴子氏の講演会」について、兼子千津子理事が発表しました。

発表する内容も様子も素晴らしく、感銘を受けました。これまで実施してきた活動が、如何に充実し、社会貢献につながっていることをあらためて実感できた時間でした。

記念講演では、元福岡教育大学 教授 三浦清一郎氏のお話を聴講しました。演題は「変わってしまった女と変わりたくない男」です。男性優位社会の特権と居心地のいい場所を失いたくない男性と、意識が自立に向かっている女性。また「演歌文化」は男性優位社会だと、ご自身が演歌を歌いながら歌詞を引用されるなど、わかりやすい表現で、広く深くの啓蒙が難しい世相を鋭く斬った軽妙なお話でした。各団体の発表も、記念公演も学びがあり、充実感いっぱいでの帰路につきました。

3 家事シェアリング意識調査

結果と推考は別紙同封しました。女性の回答はほぼ全てに印がありましたので、男性回答のデータで推考しました。そのことから、家事・育児をするのは普通と考える女性が多くみられ、そして、それらを「分担」から「共有」への意識改革が女性にも必要であると強く感じました。

4 「女性に対する暴力をなくす運動」啓発活動・相談窓口の案内

毎年11/12～25は、国が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。ワンストップ支援センターでは、DV、性暴力など様々(詳細は同封チラシ)な女性に対する暴力に関する相談を受け、相談者の不安に寄り添い、一緒に考え、医療的・心理的・同行・法的・関係機関と連携などの面からの支援を行っています。 ※各センターによって、支援内容は変わります。

パープルリボンとは、女性への暴力の根絶を訴えるアウェアネスリボン。パープルリボン運動は1994年にアメリカ合衆国ニューハンプシャー州のベルリンで始まり、日本ではNPO法人全国女性シェルターネットワークが中心となり、活動を展開している。活動の一例として2009年11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)の夜に東京タワーを紫色光でライトアップし、被害者に対して一人じゃないことを伝え、励ます意図が込められた。 ※膀胱がんの啓発と撲滅をはじめとする、社会や医療の各分野でも用いられる

県から啓発協力団体募集があり、応募し取り寄せた着用リボン・チラシを講座で配付、相談先を掲載したチラシをWaveに同封するなどを行い、例年より多くの方に情報提供ができました。





コンポスト作りで53 ゼロをめざそう!



10/24(月)8:45~15:00 25名参加



家庭から出る様々なごみの減量化に向けて講座を開催しました。可燃物、資源ごみについて中遠クリーンセンターと容器包装資源化センターで視察研修後、生ごみ減量の観点からダンボールコンポスト作りを実施しました。

ダンボールコンポスト作り

ネットワーク桜花(川根)の会長 種本鏡子さんと、山本祥子さんに講師としてお越しいただきました。また、県地女連事務局の望月智美さんも、丁寧にご指導くださいました。

ねぎや会館(愛野東)にて



☆コンポストとは、生ゴミなどの有機物を微生物の発酵分解によって堆肥化するための道具のことをいいます。今回作るコンポストは①厚手のダンボール(※)、基材は②ピートモス、③もみ殻くん炭を使用します。②③はホームセンターなどで購入できます。

(※)下図のように二重構造で防水加工をしていないものが最適。例:リンゴ、ミカン箱



「ダンボールコンポストの特徴」

1. 簡単に始められる!
2. 生ごみが減って、ごみ出しがラクラクに!
3. 嫌なニオイがほとんどしない!
4. 電気や特別な菌を使わない!
5. 安全安心で栄養豊富な堆肥が作れる!



ピートモス

もみ殻くん炭



出たごみはダンボールコンポストへ→→→
生ごみは、ごみではなく「資源」です。コンポストは、手をかけただけ応えてくれるペットのようです。楽しみながら育てていこう♪



工程を経て約一か月後、基材がサラサラの状態になったら熟成終了、堆肥の完成です。

ダンボールコンポスト作りの詳細は事務所まで



講師ご自宅のコンポスト。基材はサラッと

皆さん熱心に受講してくださいました。生ごみ堆肥化で、可燃物の量・回数が減ります。是非、ご自宅で実践していただき、地球を温室効果ガス排出抑制普及促進に貢献し、皆で地球を守りましょう!



愛野メモリアルロード 花壇植栽

11/12 (土) 8:00~ 9名参加



撮影:田代事務局長



ふくろいファミリー・サポート・センター



会員交流会

3年ぶりの会員交流会、住空間収納プランナーマスターの波多野先生をお招きして『お片付け講座』を開催いたしました。



『ココロとオウチにゆとりをつくる ～後悔しないモノの手放し方』

片付けのコツ、物との関わり方を教えていただきました

託児・高齢者サポーター養成講座

今年度も引き続き感染対策をとりながらサポーター養成講座を開催することができました。ファミリー・サポートの活動につながる内容の7講座です。具体的な支援や心がけをあらためて振り返る講座になったのではないかと思います。



救急法 袋井消防署



眺め最高！の
屋上ヘリポート

サポートのマナーと補助具の使い方



今年度修了者
託児部門 17人
高齢者部門 15人

車いす体験



反応検査で
俊敏性を知ることが
できました

見直してみよう私の運転



修了証の受け渡し



今後も日々の援助活動にいかしていただける講座を開催していきたいと思ひます。

こどもの育成 放課後児童クラブ

<令和4年度 巡回指導が実施されました>

今年度の巡回指導は、袋井東ほか4クラブが実施されました。この巡回指導は、すこやか子ども課から派遣された3名の先生が、1クラブあたり3回開催し、第1回目にはクラブでの生活の流れ・保護者との連携苦情等の対応などの「運営管理と安全対策」。第2回目はクラブでの遊びや生活支援・障がいや配慮が必要な子どもへの対応等の「子どもの育成支援」。そして第3回目の最後は、前2回の巡回時の振り返りと共に全体の総括として「今後に向けたアドバイス・工夫及び意見交換」ということで行われました。

指導の内容には、現教育の方向性を理解しながら、子どもたちをどのように育てていけば良いかを考える必要性を導かれたり、児童に対し指示・命令をできるかぎり減らし、児童自らが考えて行動できる育成を意識して問いかけを多くするなど、支援員の心がけについてもご指導を頂きました。

3名の先生からは、各クラブとも支援員同士が、相互に協力してクラブ運営をしていることに好感が持てたとのお話を頂きました。当ふぁみりあネットの8クラブは、「明るいクラブ、笑顔の毎日、安心安全信頼」のスローガンを胸に日々精進してクラブ運営しています。

事務局長 田代充



身近な物を利用したり、日本文化を伝承したり、色々なかたちで季節を感じながら、何かを作り上げる素晴らしい体験ですね。みんなが幸せな気持ちで年を迎えられますように。

放課後児童クラブ支援員募集 年齢・性別不問

勤務日 時間 ダブルワーク等、応相談。

ハローワーク求人票・袋井市ホームページでも募集内容を確認できます。

サポーターも随時募集。長期休暇(春・夏・冬休み)学生アルバイト可。



問合せ・申込など、下記までお気軽にご連絡ください。

NPO法人ふぁみりあネット事務局 0538-43-2288

平日9~16時 または <FAX> 31-5211 <メール> familiar-net@tnc.ne.jp

(氏名・連絡先を明記してください)



製品安全(家庭内事故を中心に)に関わる研修会の開催趣旨

全国の消費者生活センターには年間90万件以上の消費者相談が寄せられるが、そのほとんど(約90%)は、悪質商法等の契約トラブルである。一方、商品の品質等に係る相談は全体の約10%程度であるが、身体、生命に係る重大事故(死亡または後遺症)になる恐れがある。そこで製品安全(家庭内事故を中心に)に関わる研修会を開催し、事故の未然防止を図ることを目的としている。

第1部 消費者事故の現状 ~安全の確立から安心へ~

明治大学名誉教授

元消費者庁参与 事故情報分析タスクフォース座長 **向殿 政男 氏** NHK「クローズアップ現代・あさいチ」や日本テレビ「世界一受けたい授業」数多く出演



家庭内の事故例

~世界一受けたい授業で取り上げた製品の事故例~
製品起因?消費者起因?

- * 水槽の水がヒーターの熱で蒸発して、出火
- * ドライアイスをフードプロセッサーに入れて大けが
- * カセットコンロを二つ並べて使って大爆発
- * 自転車の車輪に傘が挟まり転倒
- * 電気ストーブの上に干していた洗濯物が落ちて出火

安全の大前提

- * 機械設備は劣化等でいつかは壊れるものである
- * 人間はいつかは間違えるものである
(時には認知症・意識を失う・悪意の人もいる)
- * 組織やルールに完全なものはあり得ない
- * **絶対安全は存在しない(リスクゼロはあり得ない)**

技術で守る(技術的側面)

製品安全・機械安全: 安全設計技術

人間で守る(人間的側面)

消費者安全・運用安全: 教育、訓練、伝承、人的因子

組織で守る(組織的側面)

使用上の情報・安全管理: 制度・ルール、基準、法律

企業も努力をしている。私たち消費者も安全性の高い商品を購入し、取扱説明書を確認して使用することが身を守る第一歩だと再確認した。

第2部 あなた自身と家族・本当に守れますか ~防災・減災活動を通して~

減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表

早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員 **浅野 幸子 氏**

①室内の安全対策をしましょう!

☆室内安全化を徹底しましょう!

居間と寝室は大きな家具を置かない、もしくはがっちりと固定
ガラス飛散防止フィルム 枕元に底が丈夫な履物を置く(固定する)

②備蓄を備えましょう! ☆備蓄は最低1週間分を!(水は一人一日3ℓ)

③地域の災害リスクと防災資源を知りましょう!

☆自宅周りの安全を確保(植木鉢等落下物、塀の安全性)
☆避難経路の確認(落橋、土砂崩れを想定し3つ位考えておく)
→あなたの地域の防災マップ、洪水ハザードマップで確認

④避難場所を具体的に検討する



災害時の避難所について事例をもとに、多くの問題・課題、助け合い・支援活動の好事例を伺いました。好事例には女性たちが言い難い要望を、別室間取りや女性リーダーを通じて聞くなどの体制作りで状況が好転した例も。災害時では乳幼児、妊産婦、要介護高齢者等が困難な状況に置かれがちとのことだが、女性が男性とともにリーダーシップを発揮することで、行き届いた避難所運営に近づくことができると思う。

3年ぶりの研修旅行は愛知県を訪ねました。好天の下、皆さんと楽しく学び、交流もでき充実した一日でした。ふぁみりあネットは、前身の頃から温暖化対策を様々なかたちで活動しています。今回はSDGs※達成に向けた豊田市の低炭素社会モデル地区「とよたエコフルタウン」で先進技術を体感しました。※持続可能な開発目標



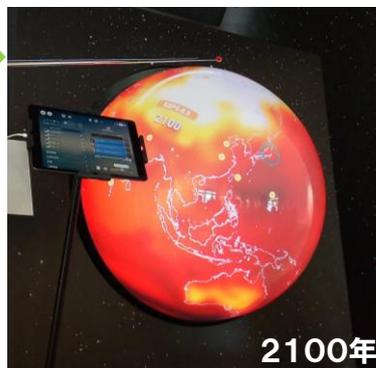
地球温暖化シミュレーション 2015~2100年 産業革命以降の全球平均気温の変化



2016年



2049年



2100年

真っ赤になっていく地球に恐怖を感じましたが、これに向かってしまっているのが現実です。私たちは次世代へ何を繋ぐのか。出来ることを今実行しなければいけません！



クルマとつながる家
HEMSで家とクルマ、先進技術をつなぎ、エネルギーを賢く使う暮らしが体験できます。
↑画像出典：トヨタホーム(株)



1人乗り超小型電気自動車「コムス」

コンビニの宅配車として見かけますね。価格は80万ほど。「あったらいいかも！買いたい！」の声があがりました。

江戸時代初期から作られている八丁味噌。名前の由来にもなった八丁村(現在の岡崎市八帖町)は川に囲まれた高温多湿な土地。味噌の保存性を高めるため仕込み水を極限まで減らす製法が確立され、その分、味噌中の水分をいきわたらせるための重しが必要となりました。山のように積む形は八丁村の2社しか行っていない独特の製法です。



当時から現在も、10年以上修行をした職人さんの手で一つ一つ積み上げています。味噌は重石の下で、二夏二冬(二年以上)ゆっくり熟成の時を待っています。

カクキキュー八丁味噌



大正末期から立て始めて昭和2年に完成した本社屋。国の登録有形文化財(愛知県初)となりました。

葵製茶(西尾市)

全国有数の抹茶の生産地・西尾で大正時代から続く老舗の抹茶メーカー



石臼で茶葉を挽く体験。心地よい振動が手に伝わります。臼の構造もよく考えられていて、先人の知恵と技術に感心しました。見学後は、石臼で丁寧に挽いたお抹茶をいただきました。



旅行を終えて

訪問先で新しい発見をしたり、情報を得たりすると、日々の暮らしも豊かになります。エコフルタウンでは厳しい現実と楽しいミライを体感しました。また、八丁味噌やお茶をいただくときには、その歴史や、手元に届くまでの過程が思い出され、お味がさらに深くなりそうです。

会員の窓

鏑木眞樹子さんの窓



今回は、このWave83号と一緒に担当した鏑木眞樹子さんの窓です。「レディースネット袋井」から「ふぁみりあネット」立ち上げにも貢献されるなど、今日まで28年間理事として活躍され、当初から様々なことを肌で感じながら功績を残された鏑木さんから、あらためてお話を伺いました。

楽しい時もうれしい時もちょっとつらい時もことごとく
経てきました。色々な事柄が思い出されて参ります。

23年11月に「公正取引委員会」が主催する消費者セミナー（委員会の活動や独占禁止法などを理解してもらうための学習会）に参加するため庁舎を訪問、そして平成27年12月に研修旅行で視察した「核融合科学研究所」では海水をエネルギー源とする核融合発電をめざし実験している様子を見学（大きな電気装置が目には焼き付いています）したことが印象深いです。どちらも内容はとても難しかったのですが、世の中の問題と課題を先駆けて勉強し、情報を提供するふぁみりあネットだからこそ、体験できたことだと思います。その後の昼食や施設をめぐり、皆さんとリラックスして楽しく過ごしました。



語りつくせない、たくさんの思い出

主として担当した事業では、市の環境政策の一環であった「緑化講座」、
「国際親善」、総会後の「手作りランチパーティー」が思い出されます。



↑平成14年から8年間続いた「緑化講座（花コース）」のフラワーアレンジメント作り

令和2年度国際親善事業「ベトナム講座」の講師と→



平成16年 環境保全事業→
「里山保全講話」エコバふ、
れあいの森にて
山の会の皆さんと一緒に
作った蔓かごをご自宅で黄
バラとともに飾った写真。美
しい！



ランチは、前身のレディースネットから二十数年間、50人分のバイキングメニューを考えました。材料はできる限り地元の食材を使用、また同じ材料を使用しながらも、同じお料理を出さないことをモットーにして催行して参りました。メニューを考え、みんなで作り上げることは、とても楽しかったです。ランチはバイキング形式で、皆さんが笑顔でおかわりを取る様子は、喜んでいただけたのだと安心して嬉しく思いました。



鏑木料理長の挨拶でランチタイムスタート！！



デザートの種類も和洋中と盛沢山です！

ご飯は毎回2種類♡
木の芽をあしらった筍ご飯。絶品です！

理事長も料理長の指示を仰ぎます😊



現在は、当時のように簡単にはいきませんが、先日3年ぶりの研修旅行も実施でき、皆様との交流も復活してきています。これも皆さまのご理解ご協力があってこそです。心よりお礼申し上げます。今後も楽しくふぁみりあネットが長く続きますよう、よろしくお願い申し上げます。

いろいろなお話をお聞かせくださり、ありがとうございました。

ふぁみりあネットの前身の頃から、ご一緒に活動・参加された方は共にする思い出が数多くあるのではないのでしょうか。総会では毎年、「ランチが楽しみ」と言う声を聞きました。美味しいだけでなく、食材、彩り、栄養の面でバランスの取れたメニューを毎回考え、材料も調達、食卓やイベント講師の楽屋にさり気なくお花を飾るなど、気配りにも敬服し、見習いたいと思いました。

原田康代、丸山秀美





製品安全(家庭内事故を中心に)に関わる研修会の開催趣旨

全国の消費者生活センターには年間90万件以上の消費者相談が寄せられるが、そのほとんど(約90%)は、悪質商法等の契約トラブルである。一方、商品の品質等に係る相談は全体の約10%程度であるが、身体、生命に係る重大事故(死亡または後遺症)になる恐れがある。そこで製品安全(家庭内事故を中心に)に関わる研修会を開催し、事故の未然防止を図ることを目的としている。

第1部 消費者事故の現状 ~安全の確立から安心へ~

明治大学名誉教授

元消費者庁参与 事故情報分析タスクフォース座長 **向殿 政男 氏** NHK「クローズアップ現代・あさいチ」や日本テレビ「世界一受けたい授業」数多く出演



家庭内の事故例

~世界一受けたい授業で取り上げた製品の事故例~
製品起因?消費者起因?

- * 水槽の水がヒーターの熱で蒸発して、出火
- * ドライアイスをフードプロセッサーに入れて大けが
- * カセットコンロを二つ並べて使って大爆発
- * 自転車の車輪に傘が挟まり転倒
- * 電気ストーブの上に干していた洗濯物が落ちて出火

安全の大前提

- * 機械設備は劣化等でいつかは壊れるものである
- * 人間はいつかは間違えるものである
(時には認知症・意識を失う・悪意の人もいる)
- * 組織やルールに完全なものはあり得ない
- * **絶対安全は存在しない(リスクゼロはあり得ない)**

技術で守る(技術的側面)

製品安全・機械安全: 安全設計技術

人間で守る(人間的側面)

消費者安全・運用安全: 教育、訓練、伝承、人的因子

組織で守る(組織的側面)

使用上の情報・安全管理: 制度・ルール、基準、法律

企業も努力をしている。私たち消費者も安全性の高い商品を購入し、取扱説明書を確認して使用することが身を守る第一歩だと再確認した。

第2部 あなた自身と家族・本当に守れますか ~防災・減災活動を通して~

減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表

早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員 **浅野 幸子 氏**

①室内の安全対策をしましょう!

☆室内安全化を徹底しましょう!

居間と寝室は大きな家具を置かない、もしくはがっちりと固定
ガラス飛散防止フィルム 枕元に底が丈夫な履物を置く(固定する)

②備蓄を備えましょう! ☆備蓄は最低1週間分を!(水は一人一日3ℓ)

③地域の災害リスクと防災資源を知りましょう!

☆自宅周りの安全を確保(植木鉢等落下物、塀の安全性)
☆避難経路の確認(落橋、土砂崩れを想定し3つ位考えておく)
→あなたの地域の防災マップ、洪水ハザードマップで確認

④避難場所を具体的に検討する



災害時の避難所について実例をもとに、多くの問題・課題、助け合い・支援活動の好事例を伺いました。好事例には女性たちが言い難い要望を、別室間取りや女性リーダーを通じて聞くなどの体制作りで状況が好転した例も。災害時では乳幼児、妊産婦、要介護高齢者等が困難な状況に置かれがちとのことだが、女性が男性とともにリーダーシップを発揮することで、行き届いた避難所運営に近づくことができると思う。

製品安全研修会 アンケート・まとめ

貴重なご意見ご感想をいただき、私たちも更に学ぶことができました。一部ですが抜粋しました。(●●)

第1部 消費者事故の現状 ～安全の確立から安心へ～

- PSCマーク(※下・右参照)製品、信頼できる会社の製品を使う
- 安全と言ってもリスクは残っている、絶対安全はない。
- 安全を確保するために企画設計から工夫されているのは凄い。

特定製品



家庭用の圧力なべ及び圧力がま、乗車用ヘルメット、登山用ロープ、石油給湯機、石油ふろがま、石油ストーブなど

特別特定製品



乳幼児用ベッド、携帯用レーザー応用装置、浴槽用温水循環器、ライターなど

※<PSCマーク>消費生活用製品安全法は、消費生活用製品により起こりうる怪我、火傷、死亡などの人身事故の発生等を未然に防ぎ、消費者の安全と利益を保護することを目的として制定された法律。規制対象品目には、自己確認が義務づけられている**特定製品**と、その中でさらに第三者機関の検査が義務付けられている**特別特定製品**がある。PS(Product Safety=製品安全)C(Consumer=消費者)

<講師から> 安いから買うという発想はやめて、安全を優先しましょう！

第2部 あなた自身と家族・本当に守れますか ～防災・減災活動を通して～

- 災害時、他からの助けはない、そのための備えをしてきたい
- 避難所には女性の防災リーダーが必要
- 防犯対策、細かなところへの気づき、高齢者や子供対応に配慮が必要

<講師から> 女性と子供の立場に立った具体的な防災組織を！

最後に

- 自分の身の回りのことを見直すことの大切さを再認識した。

自身や家族の暮らしの目線に立って見直すことにより、注意や確認すべきこと、その上で工夫できることなど様々な気づきが生まれ、身を守ることに繋がるのではないのでしょうか。

夏目理事長が、経済産業大臣賞を受賞しました

令和4年度産業標準化事業表彰式 10月24日 都市センターホテル 3階 コスモスホール

<<< 受賞内容 >>>

<氏名> 夏目 智子
 <所属> 特定非営利活動法人 ふぁみりあネット 理事長
 <主な功績> 日本工業標準調査会(JISC)消費者政策特別委員、消費生活技術専門委員を歴任し、消費者の視点に立った審議を主導することにより、消費者に役立つJIS開発に大きく寄与。また、全国地域婦人団体連絡協議会の事務局長在任中、標準化セミナー検討委員会の委員として、消費者に対する普及啓発セミナーの骨子策定に貢献。以降は毎年全国各地で開催されるセミナーの企画立案・各地の婦人団体の指導などを推進し、消費者に対する普及啓発活動に大きく寄与。消費者保護の観点に立った標準化の推進及び標準化の普及啓発の両面から、我が国の標準化事業に対する功績は大。

経済産業大臣
 永峯誠氏と夏目政務
 理事長



令和4年度
 産業標準化事業表彰式
 経済産業省

令和4年10月24日

令和4年度
 産業標準化事業表彰受賞者



同 主な功績等



また11月10日には、夏目理事長と田代事務局長が、市長室を訪問し受賞の報告をしました。



役員・事務職員で、ささやかながらお祝いをさせていただきました。

募集・お知らせ

国際親善事業

「オンラインで今すぐネパールへ行こう！」

令和5年1月27日(金) 14:00~

講師:ギーター・サフコタさん(現地ツアーコンダクター等で活躍中)が、
オンラインでネパールを案内くださいます

~ネパールの紅茶とともに~



会場:月見の里学遊館 2階 集会室C

参加費:無料 募集:40名ほど



①氏名②住所③電話番号(連絡が付きやすい番号をお願いいたします)

1月13日(金)までに①~③を事務局までご連絡ください。

お待ちしております!

その他、詳細は同封のチラシをご覧ください

午後のひと時の海外旅行
ランチの後や
夕飯のお買い物前に
是非お楽しみください

募集中!



令和5年度 法人通常総会

令和5年4月22日(土)

11時通常総会...ランチ...13時30分閉会

ハウスレストラン レスぺランス(堀越382-1)

来年の
スケジュールに
入れてくださいね。
ぜひ!!!
お会いしましょう!

イベント、バザーについては、今のところ予定しておりません。

詳細、出席・欠席(委任状)通知は、次回Wave84号春だよりでお届けします。

その他の活動中の事業...①~④法人理事が参加し、Wave84号の紙面にて報告させていただきます。



- ①令和4年度毎月 ブラジルの子どもたちが通う保育園へ「アンサンブル・グレース」の皆さんとともに毎月訪問し、音楽を通じて相互理解を深め子供たちの社会参加を支援。「国際親善(国際交流)事業」
- ②11月~3月 ふらっとサミット専門分野交流会(全5分野)の4分野に参加「法人4事業」
- ③1月13日 ACP(愛称:人生会議)研修会「福祉の増進事業」
- ④1月14日 男性育休を推進するワーク・ライフ・バランス 講演会「男女共同参画事業」

編集後記

2022年は、2月にロシアがウクライナを侵略し、悲しい戦争が始まりました。世界中の経済へも影響を与え、物価上昇、品不足等、私達の生活も打撃を受けました。そして9月の台風15号では、市内でも多くの被害が出て、災害が身近になりました。コロナも今だに衰えず、増々大変な世の中になっています。その中で、11月のサッカーワールドカップで日本が16強に入ったことは、希望に満ちた嬉しいニュースでした。当法人での事業では、皆様のご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和5年は、兔年!前を向いて、未来に向かって進んでいきたいと思ひます。

鍋木眞樹子、原田康代、丸山秀美



良いお年を
お迎え下さい

〒437-0023 袋井市高尾783-4
NPO法人ふみりあネット事務局(平日9-16時)
<TEL>0538-43-2288
<FAX>0538-31-5211
<メール> familiar-net@cy.tnc.ne.jp
<ホームページ> https://familiarnet.jimdo.com/

Wave83号:令和4年12月27日発行